

令和8年度平塚市立小・中学校で使用する教科用図書の採択のあり方
について

令和8年度平塚市立小・中学校で使用する教科用図書の採択の基本的な考え方について、別紙のとおり定めるものとする。

令和7年5月30日提出

平塚市教育委員会

教育長 吉 野 雅 裕

令和8年度平塚市立小・中学校で使用する教科用図書の採択のあり方について

平塚市教育委員会は、令和8年度平塚市立小・中学校で使用する教科用図書の採択について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律(昭和38年法律第182号)第10条、第13条及び第14条の規定に基づき、平塚市教科用図書採択地区として令和8年度に平塚市立小・中学校〔学校教育法(昭和22年法律第26号)において規定する小学校、中学校をいう。〕において使用する教科用図書〔学校教育法第34条第1項(同法第49条、第70条第1項及び第82条を準用する。)及び附則第9条に規定する教科用図書をいう。〕の採択を行う。

但し、小・中学校用教科用図書は、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書を除き、それぞれの「教科書目録(令和8年度使用)」に登載されている教科用図書のうちから採択する。

なお、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択は、新たな図書を採択することができる。

採択に際しては、神奈川県教科用図書選定審議会や平塚市教科用図書採択検討委員会における調査研究と協議内容を十分に参考にし、学習指導要領に基づいて、学校・児童・生徒・地域等の特性を考慮し、且つ公正確保に努める。さらに、採択後の情報の公開に配慮する。